

令和5年度「県立学校による地域学校協働活動」実施報告書

番号	11	学校名	檀原高等学校
----	----	-----	--------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	「檀高大学」による大学講義体験
教育課程上の位置付け・ 目標又は活動のねらい	教育課程上の位置付け：第1, 2学年「総合探究」 目標：進路実現に向け、大学教員から講義や講話を通して各学部で学ぶ内容や大学の雰囲気等を体感することで、知的好奇心を高め、今後の目標設定や学習意欲向上に繋げる。
連携・協働相手	第1学年 ライセンスアカデミー 第2学年 株式会社さんぼう（令和4年度14大学）
地域と共有している 目標・課題等	高大連携
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
<p>自らの進路希望に関わる学部や大学から2講座を選択し申込を行わせた。当日40分のミニ講義を受講し、その後キャリア・パスポート等への記入を行い、以後の進路目標設定や学習意欲向上に繋げることにした。令和4年度は第2学年のみ実施していたが、今年度は第1学年も実施することができた。</p>	

2. 事業の成果と課題

<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学の学部やそこで学ぶ学問についてのイメージが湧きにくい生徒も多い中で、「檀高大学」は積極的に進路を考える良いきっかけ作りの場として大きな意義があると思われる。また、講義体験を通して、自らが興味・関心のある学問分野に実際に触れることで、大学進学の際のミスマッチを防ぐ意味でも一役買っていると思われる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年度当初から受講する講義を選択するまでの期間に、生徒自身が大学の学部やそこで学ぶ学問についてある程度触れる機会を確保するべきだった(受講する講義を適当に選択する者がいた)。 ・就職を希望する生徒へのフォロー等について検討の余地がある。 	
---	--

